

評価表（評価項目一覧表）

| 評価項目 | 評価基準（視点） | 配点 | 技術提案書作成にあたっての留意事項 |
|---------------------------|---|----|--|
| 1. 社としての経験・能力等 | | 60 | 業務を受注した際に適切かつ円滑な業務が実施できることを証明するために参考となる、応募者の社としての類似業務の経験、所有している資格等について、記載願います。 |
| (1) 類似業務の経験 | <ul style="list-style-type: none"> ・本研修実施に活用可能な、開発途上国を対象とした海上保安（特に海上犯罪取締り分野）、交通・運輸にかかる研修及び同分野の国内外における技術協力業務に関する知見及び実務経験。当該業務実施に当たっての組織体制図、担当者名、その他特筆すべき知見・経験・関係機関とのネットワーク等を記載する。 ・過去10年間の類似案件を対象とし、より最近のものに対し高い評価を与える。また、それらの業務経験が当該案件の実施にあたり、どのように有用であるかについても説明する。 ・当機構発注業務に限らず、他団体が発注した類似業務も含める。 | 50 | 当該業務に最も類似すると思われる実績（3件以内）を選び、その業務内容（事業内容、サービスの種類、業務規模等）や類似点を記載ください。特に、何が当該業務の実施に有用なのか簡潔に記述してください。 |
| (2) 資格・認証等① | <p>【以下の資格・認証を有している場合評価する。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントに関する資格（ISO9001等） ・情報セキュリティに関する資格・認証（ISO27001/ISMS、プライバシーマーク等） ・その他、本業務に関すると思われる資格・認証 | 8 | 資格・認証を有する場合はその証明書の写しを提出願います。 |
| (2) 資格・認証等② | <p>【以下の認証を1つでも有している場合には、一律2点とする。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定、プラチナえるぼし認定」のいずれかの認証 ・次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定、トライくるみん、プラチナくるみん認定」のいずれかの認証 ・若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定」 | 2 | |
| 2. 業務の実施方針等 | | 90 | 業務の実施方針等に関する記述は10ページ以内としてください。 |
| (1) 業務実施の基本方針（留意点）・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務の目的及び内容等に基づき業務実施のクリティカルポイントを押さえ、これに対応する業務方針が示されているか。 ・提案されている業務の方法については、具体的かつ現実的なものか。 ・その他本業務の実施に関連して評価すべき提案事項があるか。 | 60 | 業務仕様書案に対する、本業務実施における基本方針及び業務実施方法を記述してください。 |
| (2) 業務実施体制（要員計画・バックアップ体制） | <ul style="list-style-type: none"> ・提示された業務の基本方針及び方法に見合った実施（管理）体制や要員計画が具体的かつ現実的に提案されているか、業務実施上重要な専門性が確保されているか。具体性のないあいまいな提案となっていないか。 ・要員計画が適切か（外部の人材に過度に依存していないか。主要な業務の外注が想定されていないか）。 | 20 | 業務仕様書案に記載の業務全体を、どのような実施（管理）体制（直接業務に携わる業務従事者のみならず、組織として若しくは組織の外部のバックアップ体制を含む）、要員計画（業務に必要な業務従事者数、その構成、資格要件等）等で実施するか記述してください。 |
| (3) 業務実施スケジュール | <ul style="list-style-type: none"> ・具体的かつ現実的なスケジュール案が提示されているか。 | 10 | 業務実施にあたっての作業工程をフローチャート・作業工程計画書等で作成願います。 |
| 3. 業務総括者の経験・能力 | | 50 | 業務総括者の経験・能力等（類似業務の経験、実務経験及び学位、資格等）について記述願います。 |
| (1) 類似業務の経験 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務総括者の日本及び途上国等での海上保安や運輸・交通にかかる専門的知見・能力と研修運営・指導能力について記載する ・なお、技術提案書記載対象の業務総括者は、業務従事者の中で最も深く研修に関与し、研修同行、コース運営（研修関係者に対する支援・調整及び研修の進行）及び契約業務の中心となる従事者で、当該分野の業務経験があり、研修の目的や研修員の知識・技術レベルに基づいて適切にコース運営できる業務従事者を想定している。 | 30 | 当該業務に類似すると考えられる業務経験の中から（現職含む）、業務総括者の業務内容として最も適切と考えられるものを3件まで選択し、類似する内容が具体的に分かるよう最近のものから時系列順に記述してください。 |
| (2) 業務総括者としての経験 | <ul style="list-style-type: none"> ・当該分野における過去に従事した案件・業務ごとに、業務総括者自らが担当した業務・役割を明確に記載する（過去10年以内のもの）。また、それらの業務経験が当該案件の実施にあたり、どのように有用であるかについても説明する。 ・当機構発注業務に限らず、他団体が実施する類似業務も含める。 | 10 | |
| (3) その他学位、資格等 | <ul style="list-style-type: none"> ・発注業務と関連性の強い学歴（専門性）、資格、業務経験などがあるか。 ・語学（英語）の資格名、グレード名（又は取得スコア）及び取得年月を記載するとともに、その認定書の写しを添付のこと。認定書の写しが無い場合には当該語学資格を語学評価の対象外とする。 ・その他、業務に関連する項目があれば評価する。 | 10 | 当該業務に関連する資格や英語の資格等を有する場合はその写しを提出してください。 |